



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古里 親
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,370	△3.7	856	△19.8	916	△21.0	596	△16.2
26年3月期第3四半期	16,997	3.6	1,067	15.5	1,159	15.6	711	14.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	74.39	—
26年3月期第3四半期	81.06	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	19,442		16,606	85.4	2,389.78			
26年3月期	22,593		19,544	86.5	2,225.55			

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 16,606百万円 26年3月期 19,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△2.0	1,200	△11.7	1,250	△14.9	800	△11.8	103.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	8,832,311 株	26年3月期	8,832,311 株
27年3月期3Q	1,883,262 株	26年3月期	50,659 株
27年3月期3Q	8,021,978 株	26年3月期3Q	8,781,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う消費の冷え込みからスタートし、夏場の天候不順に悩まされた期間となり、また、地政学的リスクの増大、中国経済の停滞や急激な円安など海外動向に対する不安感の増大等、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、景気回復による個人消費の盛り上がりへの期待感はあるものの、依然として雇用・所得環境は改善の兆しの途上であり、食の安全性に対する不安感の増大や低価格競争の激化と円安による原材料価格とエネルギーコストの上昇への懸念など厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第3四半期累計期間の売上高は16,370百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は856百万円(前年同期比19.8%減)、経常利益は916百万円(前年同期比21.0%減)、四半期純利益は596百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、液体スープの売上が減少し、売上高は2,541百万円(前年同期比12.4%減)、セグメント利益は324百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

粉粒体食品部門は、機能性食品の受託が低調に推移しましたが、顆粒製品の受託が伸び、売上高は3,323百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は69百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

チルド食品部門は、焼そばの受託は好調でしたが、半生麺・ゆで麺等のアイテムが低調に推移したため、売上高は2,576百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は226百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

即席麺部門は、袋麺が低調に推移しましたが、カップ麺がカバーし、売上高は6,591百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は製造品種構成の変化に伴う売上原価率のアップと人件費や動力費等の増加により216百万円(前年同期比52.5%減)となりました。

その他は、その他商品の取扱が減少し、売上高は1,336百万円(前年同期比15.5%減)、セグメント利益は19百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期会計期間末における資産の部は19,442百万円となり、前事業年度末と比べ3,151百万円減少しました。これは主に、流動資産において関係会社短期貸付金が3,500百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,835百万円となり、前事業年度末と比べ213百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が182百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は16,606百万円となり、前事業年度末と比べ2,937百万円減少しました。これは主に、自己株式の取得3,390百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の変更等をいたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の前払年金費用が81百万円減少し、退職給付引当金が23百万円減少し、利益剰余金が37百万円減少しております。また、これらによる損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,902	6,347
売掛金	2,331	2,282
商品及び製品	388	412
仕掛品	23	12
原材料及び貯蔵品	313	328
関係会社短期貸付金	7,000	3,500
その他	137	79
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	16,087	12,956
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,077	2,018
機械及び装置（純額）	1,610	1,469
その他（純額）	989	981
有形固定資産合計	4,676	4,469
無形固定資産	41	33
投資その他の資産	1,787	1,981
固定資産合計	6,506	6,485
資産合計	22,593	19,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,585	1,624
未払法人税等	239	57
賞与引当金	164	63
役員賞与引当金	16	3
その他	506	489
流動負債合計	2,511	2,239
固定負債		
退職給付引当金	473	476
役員退職慰労引当金	64	62
その他	—	57
固定負債合計	537	596
負債合計	3,049	2,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	17,067	17,312
自己株式	△65	△3,455
株主資本合計	19,323	16,177
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	220	428
評価・換算差額等合計	220	428
純資産合計	19,544	16,606
負債純資産合計	22,593	19,442

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,997	16,370
売上原価	15,165	14,800
売上総利益	1,832	1,570
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	216	196
賞与引当金繰入額	8	9
役員賞与引当金繰入額	10	3
退職給付費用	18	22
役員退職慰労引当金繰入額	9	7
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	501	474
販売費及び一般管理費合計	764	713
営業利益	1,067	856
営業外収益		
受取利息	29	23
受取配当金	35	36
雑収入	33	36
営業外収益合計	97	96
営業外費用		
賃貸費用	5	5
自己株式取得費用	—	30
雑支出	0	0
営業外費用合計	5	35
経常利益	1,159	916
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	1
補助金収入	—	2
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除売却損	17	1
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	17	3
税引前四半期純利益	1,142	917
法人税、住民税及び事業税	400	276
法人税等調整額	30	44
法人税等合計	430	320
四半期純利益	711	596

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年9月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,832,500株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が3,390百万円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が3,455百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,901	3,304	2,655	6,554	15,416	1,581	16,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,901	3,304	2,655	6,554	15,416	1,581	16,997
セグメント利益	264	86	237	456	1,044	22	1,067

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,541	3,323	2,576	6,591	15,033	1,336	16,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,541	3,323	2,576	6,591	15,033	1,336	16,370
セグメント利益	324	69	226	216	836	19	856

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。